

山口大学研究設備・機器の整備・共用推進に係るポリシー

山口大学は、地域の基幹総合大学として各専門分野での研究を極めるとともに、他分野や学外・国外の研究者との交流・連携を深め、新たな研究シーズを創出し、時代や地域が求めるニーズや課題に応える研究を推進し、研究成果の社会還元を目的に、科学技術イノベーション創出をリードし、様々な分野が融合する新たな研究や学問の創成を目指している。

この目標を達成するため、研究基盤の充実を目指し、計画的かつ継続的に施設・スペース・設備機器等を充実・強化するとともに、全学の協働体制の下で、以下のポリシーに則り、研究設備・機器の整備・共用及び学内外への有効活用を推進する。

1. 中長期的な視野の下、研究基盤整備戦略の基本方針として、研究設備・機器の計画的・継続的な整備・共用を全学で推進する。
2. 本学の研究力の向上に資するため、研究設備・機器を、研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化するとともに効果的な運用を行う。
3. 共用化設備・機器は、リサーチファシリティマネジメントセンターが中心となり、関係部局と調整を行い共同利用できる環境を整える。
4. 共用化設備・機器の維持管理に係る経費は、学内運営費及び受益者負担により行うものとする。
5. 共用化設備・機器を利用して行った研究の成果を学会誌等に発表する場合には、論文にその旨を記載するとともにリサーチファシリティマネジメントセンターに報告する。
6. 学外者による共用化設備・機器の利用を積極的に推進し、地域との連携を強化する。